

砂原かつのり

すなはら 総務委員会 地方創生・行財政対策特別委員会

広島市西区横川町1-5-7
[TEL] 082-292-8328 [FAX] 082-292-8379
http://sunahara-k.com/
E-mail:sunahara@ms11.megaegg.ne.jp

〒730-8509 広島市中区基町10-52 広島県議会「広志会」控室
[TEL] 082-513-4620 [FAX] 082-223-0185

広志会 議員	会長 城戸常太 [呉市] 建設委員会 少子化・次世代育成対策特別委員会	井原 修 [東広島市] 警察・商工労働委員会 産業競争力強化対策特別委員会副委員長	宮本新八 [山県郡] 農林水産委員会 平和推進・地域魅力向上対策特別委員会	佐藤一直 [広島市中区] 文教委員会副委員長 社会基盤整備対策特別委員会
-----------	---	---	---	--



県庁舎耐震化工事決定は実に「もったいない」

平成30年度予算案を審議した2月定例会が終了しました。課題山積の予算案でしたが、中でも「県庁舎耐震化等整備促進事業」については会派として反対し、この予算を減額する修正案に賛成しました。

県と広島市は共同で「ひろしま都心活性化プラン」を策定し、広島市の都心が市域・県域の発展をけん引していくよう、より一層の都心活性化の取組を進めることとしています。

昨年、私は代表質問で、紙屋町周辺の整備については、県庁敷地を含め、バスセンターや旧市民球場跡地、更には商工会議所まで含めて一体で考えていく必要があると指摘しました。

庁舎建て替えはアイデア次第

しかし、県は、県庁敷地は今のままで、現庁舎の耐震化工事を行う方針を変えません。「地震はいつ発生するかわからないので、早急に耐震工事するべき」と、県に賛同する意見もありましたが、県庁舎の耐震工事を行うという事は、築60年以上の現庁舎を今後更に20年〜30年程度も

使い続けるということですが、コンクリートの劣化年数を考えれば、そう遠くない将来に庁舎の建て替えが必要なのは明らかです。

また、県庁敷地の容積率は400%ですが、現庁舎は131%しか使っていない。減額修正案を提出した会派から（土地を有効活用しないのは「もった



いない」という指摘がありました。私も正にその通りだと思えます。

「中山間地域の活性化がままならないのに、県庁舎を新築する必要はない」という意見もあるでしょう。しかし、他の自治体の例を見ますと、東京の豊島区では、区役所と分譲マンションを一体とした建物を新築しましたが、敷地を70年間の定期借地として民間に開放し、その借地料を一括受領することにより「0円」で庁舎建設ができています。

また、渋谷区も同様の手法で、現在は区役所と渋谷公会堂を新築中であり、これも公費「0円」で新築しているのです。広島で、何故この手法を検討しないのでしょうか？「0円」は無理でも、庁舎建設基金155億円も合わせて活用すれば、庁舎の建て替えと敷地の有効活用が十分に可能だと思えます。このままでは、都心の中でも特に重要な紙屋町再開発も、その一区画が欠けて効果も十分に上がらないのではないのでしょうか。

県庁舎の耐震化費用は52億円ですが、窓ガラスの補強、配管や

ケーブル等の更新等を併せると総計75億円もかかる見込みです。これらは将来、県庁舎の建替えの際には消えてなくなるお金で、全く「もったいない」と思えます。

今後も都心活性化に取り組む

その他にも、「ひろしま都心活性化プラン」では、将来像完成の目標年次を被爆100年となる2045年と示していますが、そんなに時間を先送りして大丈夫なのか、広島だけが「おいてけぼり」になるのでは？と危惧しています。

また、バスターミナルの在り方については議論の俎上にも上がっていませんが、軌道敷の交通体系が弱い広島県・広島市では、バスによる交通体系は重要です。ターミナルの位置の工夫等により、道路交通体系の整備や慢性化している紙屋町周辺の渋滞緩和などを図る必要があったのではないのでしょうか。

予算の減額修正案は否決され、庁舎耐震化の予算は議決されましたが、県庁敷地の有効活用等の問題等と合わせて、都心活性化に向けて実に「もったいない」判断だったのではないのでしょうか。

住んでみたい元気な広島県に

広志会のポリシーは、県民のためになるかどうかを軸に活動しています。執行部の提案等には是々非々の姿勢を変えないことはもちろん、会派内研修や議会視察研修等も積極的に取り組み、常に温故知新を意識して努めています。

元気な広島県を創出するために、地域の現状と課題を分析し、対応策を考えた活動を重ねる活動や、国への働き掛けも積極的にを行っています。どうぞ、皆様方の県政に対するご意見をお寄せください。



市立吹田サッカースタジアムの視察(大阪市)



野村祐輔投手を励ます会(明治大学校友会で)



城戸会長を囲み、左から宮本・砂原・井原・佐藤の各県議



支援企業の周年記念会で



平和構築に向けた核軍縮不拡散会議